

今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】

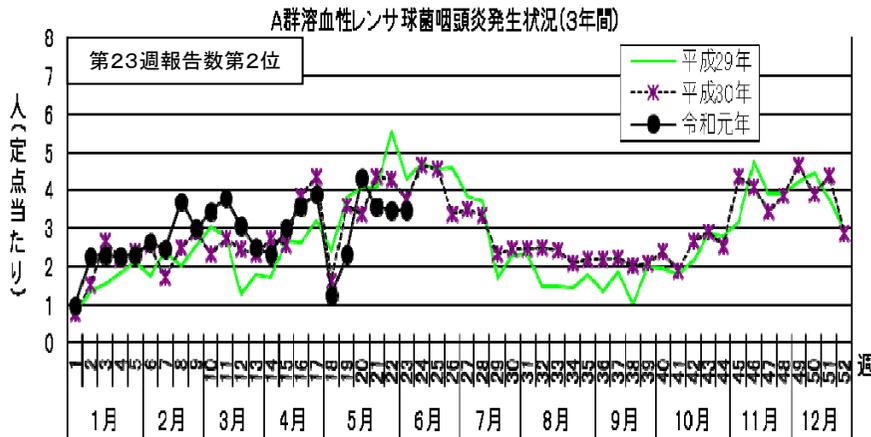
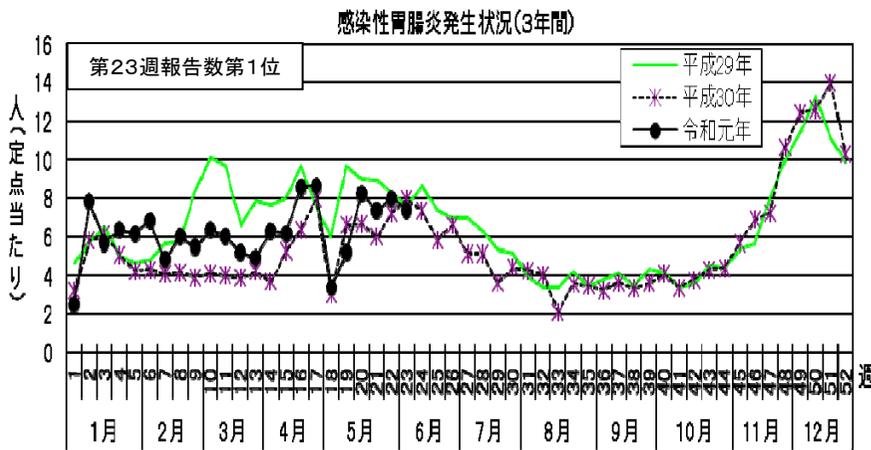
令和元年6月3日（月）～令和元年6月9日（日）〔令和元年第23週〕の感染症発生状況

第23週で定点当たり患者報告数の多かった疾病は、1) 感染性胃腸炎 2) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 3) 流行性角結膜炎でした。

感染性胃腸炎の定点当たり患者報告数は7.36人と前週（7.97人）から横ばいで、例年並みのレベルで推移しています。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり患者報告数は3.47人と前週（3.46人）から横ばいで、例年並みのレベルで推移しています。

流行性角結膜炎の定点当たり患者報告数は1.11人と前週（0.89人）から増加し、例年並みのレベルで推移しています。

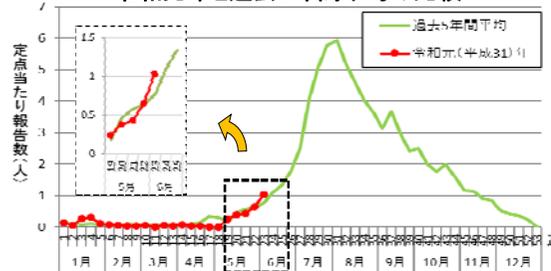


手足口病 ～報告数が徐々に増加しています～

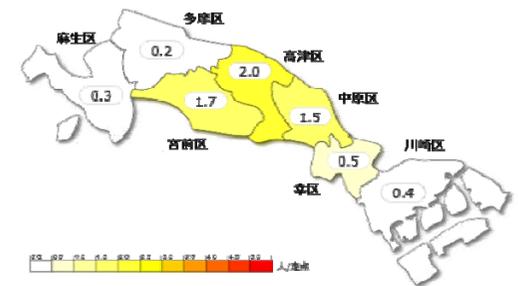
手足口病は、乳幼児を中心に夏に流行するウイルス性の感染症です。

川崎市では、5月中旬から手足口病の報告数が徐々に増加しており、令和元年第23週（6月3日～6月9日）の定点当たり患者報告数は1.03人となりました。現在、中原区や高津区、宮前区からの報告が多く、保育園での集団発生も確認されています。ウイルスは便中に長期間排泄されることもあるため、トイレやおむつ交換の後は排泄物を適切に処理し、念入りに手を洗いましょう。また、タオルの共用なども避けましょう。

川崎市における手足口病の発生状況
— 令和元年と過去5年間平均の比較 —



川崎市における手足口病マップ(令和元年第23週)



まれに重症化し、無菌性髄膜炎や脳炎・脳症、筋炎、心筋炎などの合併症を引き起こすことがあります。



手足口病の症状

- 手のひら、足の裏、口の中などに水疱性の発疹、発熱（38℃以下のことが多い）
- 通常は軽症
- ※特異的な治療法はありません。
- ※脱水に注意し、水分をこまめにとりましょう。